

概要版

平成30年度

静岡市

「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」

調査結果報告書



静岡市

目 次

I	調査概要	1
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査設計	1
	(3) 回収状況	1
	(4) 報告書の見方	1
II	調査結果	2
	(1) 居住地区	2
	(2) 対象の子どもの年齢と学年	2
	(3) 子育てを主に行っている方	2
	(4) 日ごろ、子どもをみてもらえる親族・知人の有無	3
	(5) 相談相手（場所）の有無	4
	(6) 相談相手（場所）	4
	(7) 母親の就労状況	5
	(8) 父親の就労状況	6
	(9) 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無	6
	(10) 利用している事業	7
	(11) 今後定期的に利用したい事業	7
	(12) 病気の際の対処方法	8
	(13) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望の有無	8
	(14) 不定期に利用している事業の有無	9
	(15) 利用している事業	9
	(16) 私用等の目的での事業の利用希望の有無	9
	(17) 子育て支援センター等の利用の有無	10
	(18) 子育て支援センター等の利用を希望する事業（利用している）	10
	(19) 子育て支援センター等の利用を希望する事業（利用していない）	10
	(20) 子ども未来サポーター等の利用の有無	11
	(21) 子ども未来サポーター等の利用を希望する事業（利用している）	11
	(22) 子ども未来サポーター等の利用を希望する事業（利用していない）	11
	(23) 放課後の過ごし方	12
	(24) 就学後の放課後の過ごし方	12
	(25) 各種事業の認知度・利用状況	13
	(26) 各種事業の満足度	15
	(27) 子育て支援や子育て環境の満足度	17
	(28) 効果が高いと考えられる施策または充実を図って欲しいと期待する施策	18
	(29) 子育てについて日ごろ悩んでいることや不安なこと	19
	(30) 理想の子どもの人数	20
	(31) 理想の子どもの人数より現実の子どもの人数が少ない理由	21

I 調査概要

(1) 調査目的

静岡市子ども・子育て支援プラン（計画期間：2020～2024年度）における需要量の見込等を設定する上での基礎資料とするため、市民の子育てに関する生活実態や、子育て支援の利用状況、利用希望等のニーズを把握することを目的として実施しました。

(2) 調査設計

調査地域：静岡市内全域

調査対象：就学前児童用……就学前児童（0歳～5歳）を養育する保護者

就学児童用……小学生（1年生～6年生）を養育する保護者

調査期間：平成30年10月12日（金）～平成30年10月31日（水）

抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出

調査方法：郵送配布・郵送回収

(3) 回収状況

	配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
就学前児童用	5,000	3,374	67.5%	3,373	67.5%
就学児童用	2,000	1,311	65.6%	1,310	65.5%
合計	7,000	4,685	66.9%	4,683	66.9%

※有効回収数とは、回収数から白紙回答などの無効回答を除いた数のことです。

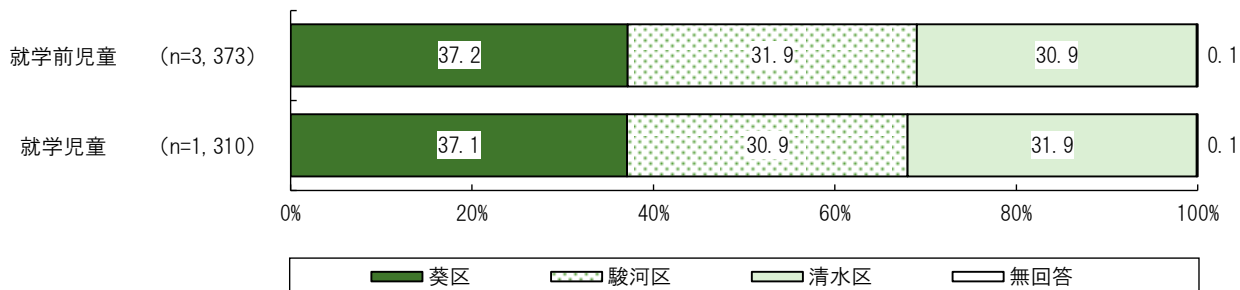
(4) 報告書の見方

- (1) 「n」は各設問の回答者数を表しています。
- (2) 回答結果の割合「%」は、「n」を基数として算出し、それぞれの割合を小数点以下第2位で四捨五入しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）の設問であっても、合計値が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答結果の割合の合計値が100%を超えることがあります。
- (4) 就学前児童用と就学児童用の調査は、設問や選択肢が異なる場合があります。

Ⅱ 調査結果

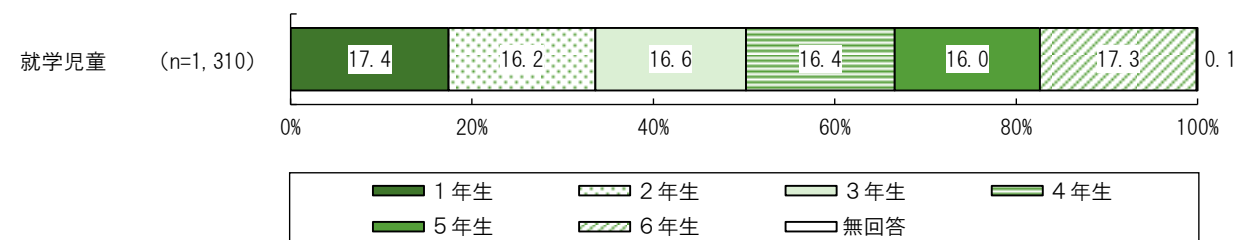
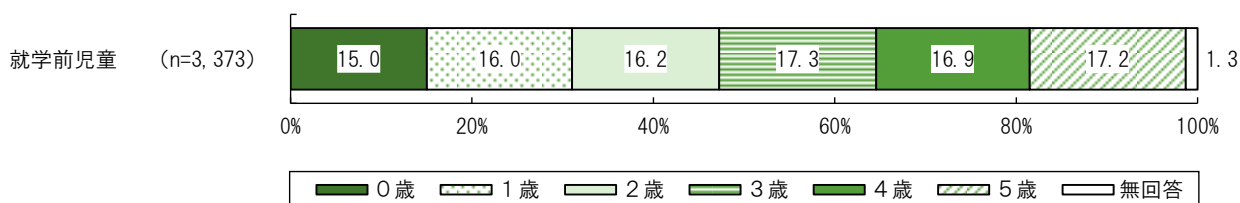
(1) 居住地区〈単数回答〉

[就学前児童調査・就学児童調査…問1]



(2) 対象の子どもの年齢と学年〈数量回答〉

[就学前児童調査・就学児童調査…問2]

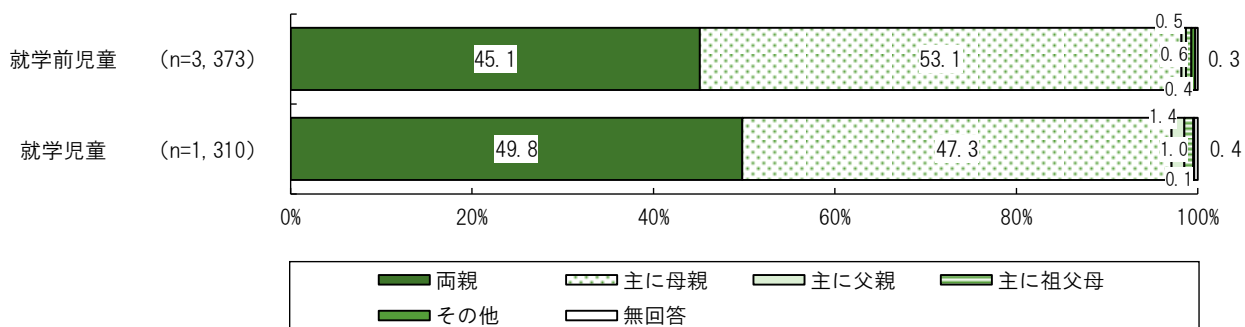


(3) 子育てを主に行っている方〈単数回答〉

[就学前児童調査・就学児童調査…問6]

就学前児童では、「主に母親」が53.1%と最も高く、次いで「両親」が45.1%、「主に祖父母」が0.6%などとなっています。

就学児童では、「両親」が49.8%と最も高く、次いで「主に母親」が47.3%、「主に父親」が1.4%などとなっています。



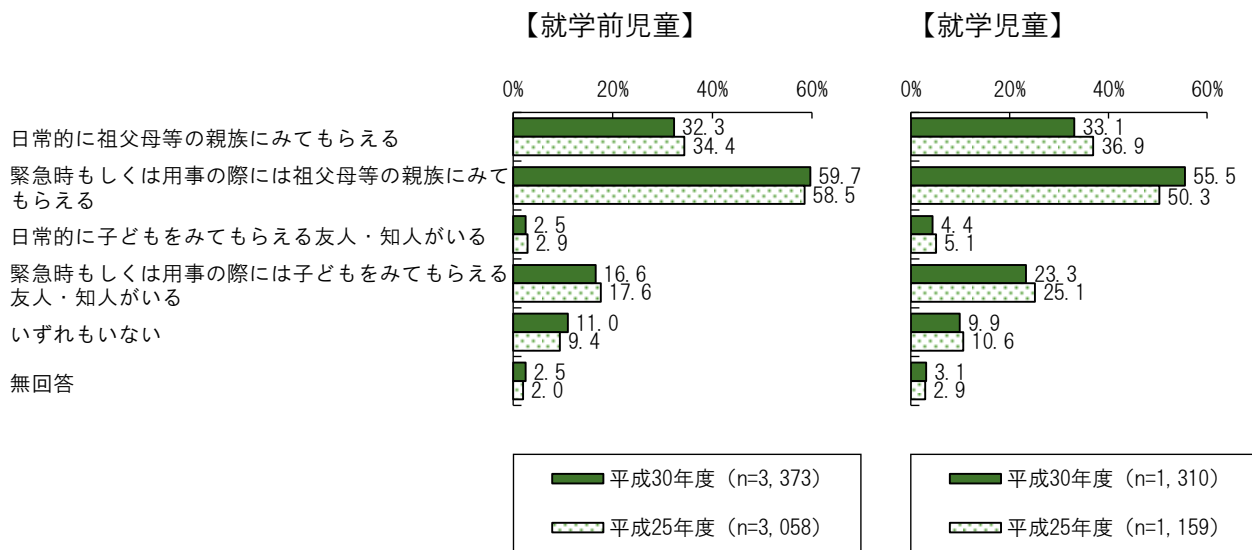
(4) 日ごろ、子どもをみてもらえる親族・知人の有無〈複数回答〉

[就学前児童調査・就学児童調査…問7]

就学前児童では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が59.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が32.3%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が16.6%などとなっています。

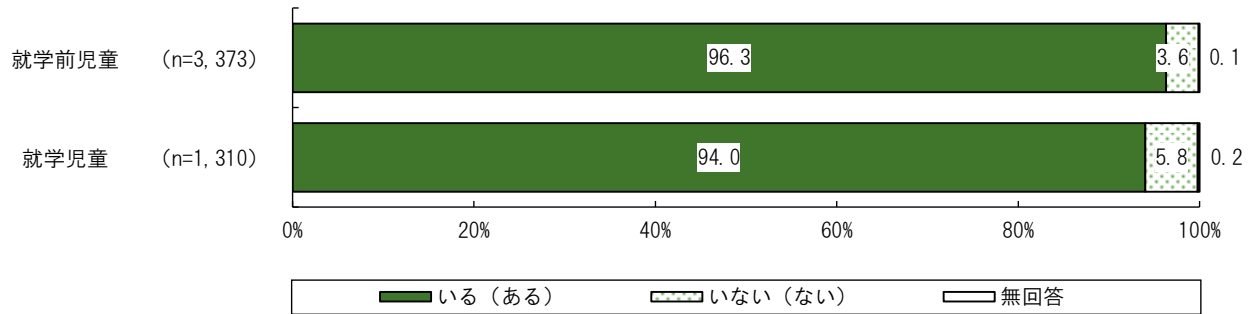
就学児童では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.5%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が33.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が23.3%などとなっています。

平成25年度調査と比較すると、就学前児童、就学児童ともに「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も高く、大きな傾向の差はみられませんでした。



(5) 相談相手(場所)の有無(単数回答) [就学前児童調査・就学児童調査…問8]

就学前児童では、「いる(ある)」が96.3%、「いない(ない)」が3.6%となっています。
 就学児童では、「いる(ある)」が94.0%、「いない(ない)」が5.8%となっています。

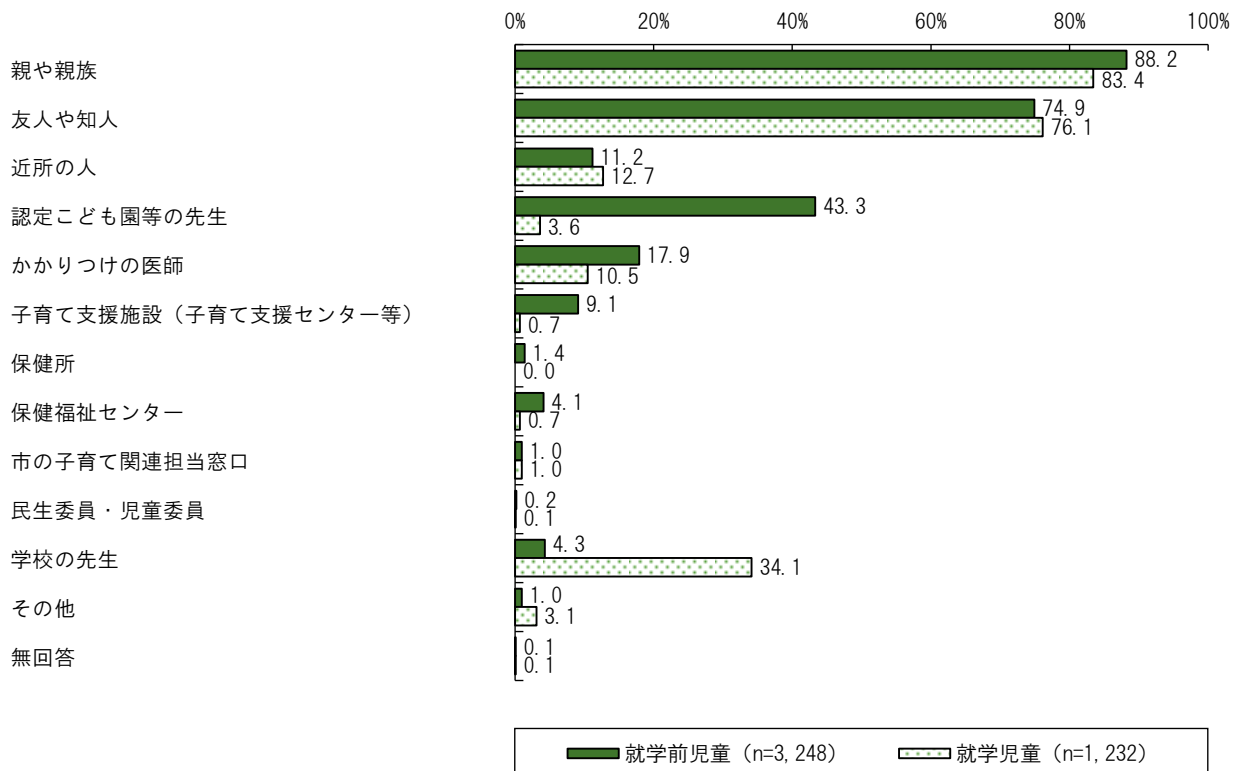


(5)で「いる(ある)」を選んだ方

(6) 相談相手(場所)(複数回答) [就学前児童調査・就学児童調査…問8]

就学前児童では、「親や親族」が88.2%と最も高く、次いで「友人や知人」が74.9%、「認定こども園等の先生」が43.3%などとなっています。

就学児童では、「親や親族」が83.4%と最も高く、次いで「友人や知人」が76.1%、「学校の先生」が34.1%などとなっています。



(7) 母親の就労状況〈単数回答〉

[就学前児童調査・就学児童調査…問9-1]

母親については、就学前児童では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が31.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が30.1%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.3%などとなっています。

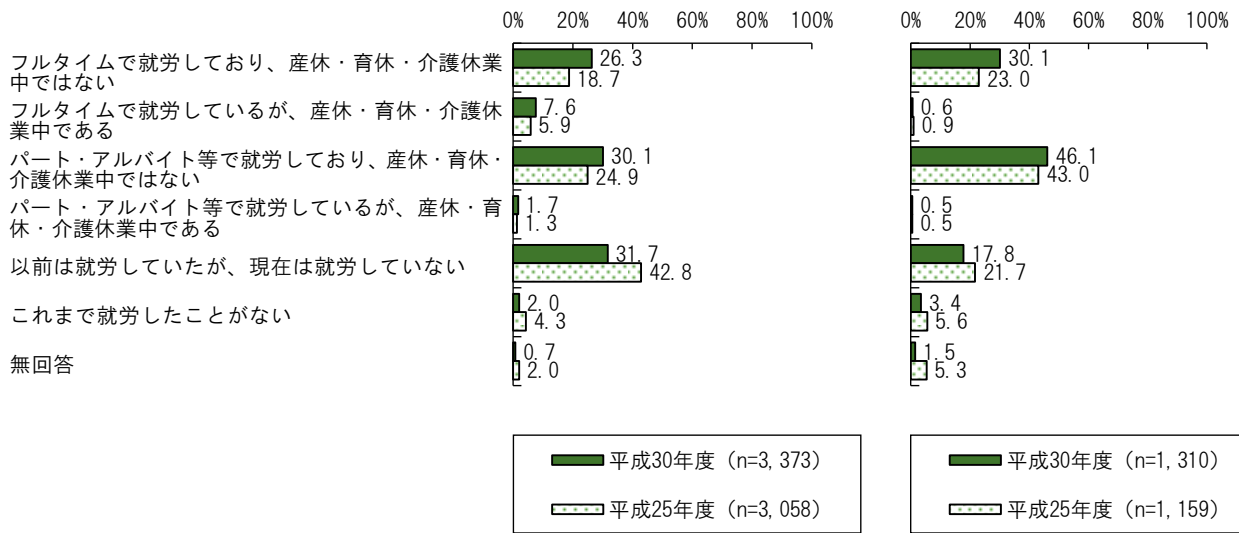
就学児童では、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が46.1%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が30.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が17.8%などとなっています。

平成25年度調査と比較すると、就学前児童、就学児童ともに「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を合わせた『就労している』が高くなっています。

【母親】

【就学前児童】

【就学児童】



(8) 父親の就労状況〈単数回答〉

[就学前児童調査・就学児童調査…問9-1]

父親については、就学前児童では、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が89.3%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が0.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.3%などとなっています。

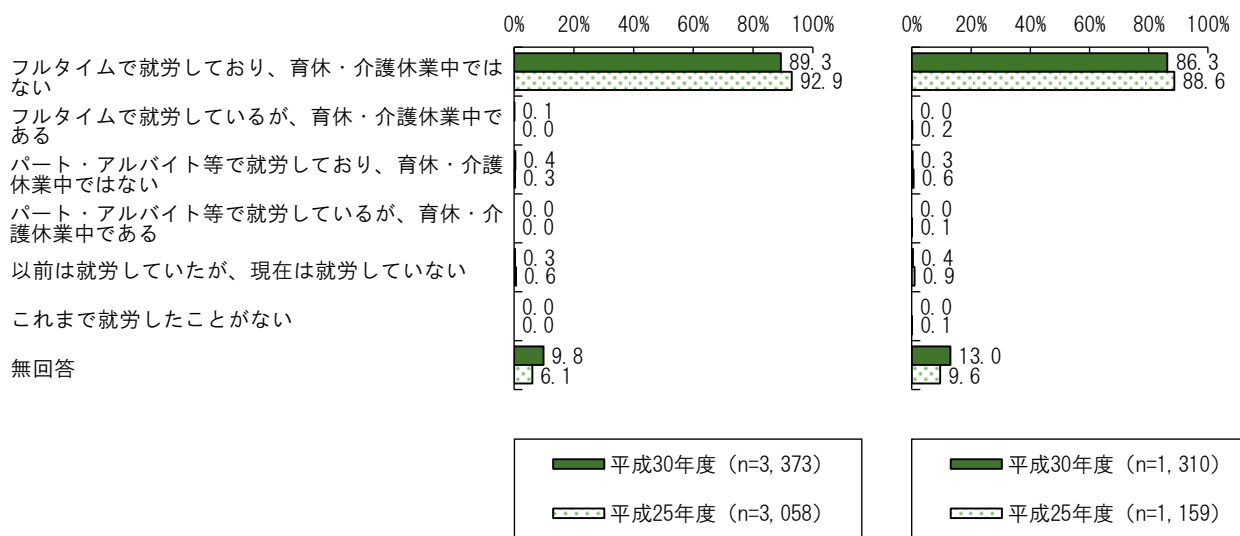
就学児童では、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が86.3%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.4%、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が0.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、就学前児童、就学児童ともに「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が最も高く、大きな傾向の差はみられませんでした。

【父親】

【就学前児童】

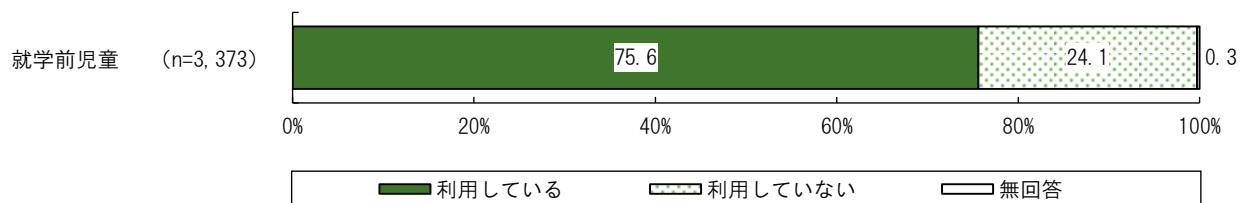
【就学児童】



(9) 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無〈単数回答〉

[就学前児童調査…問11]

「利用している」が75.6%、「利用していない」が24.1%となっています。

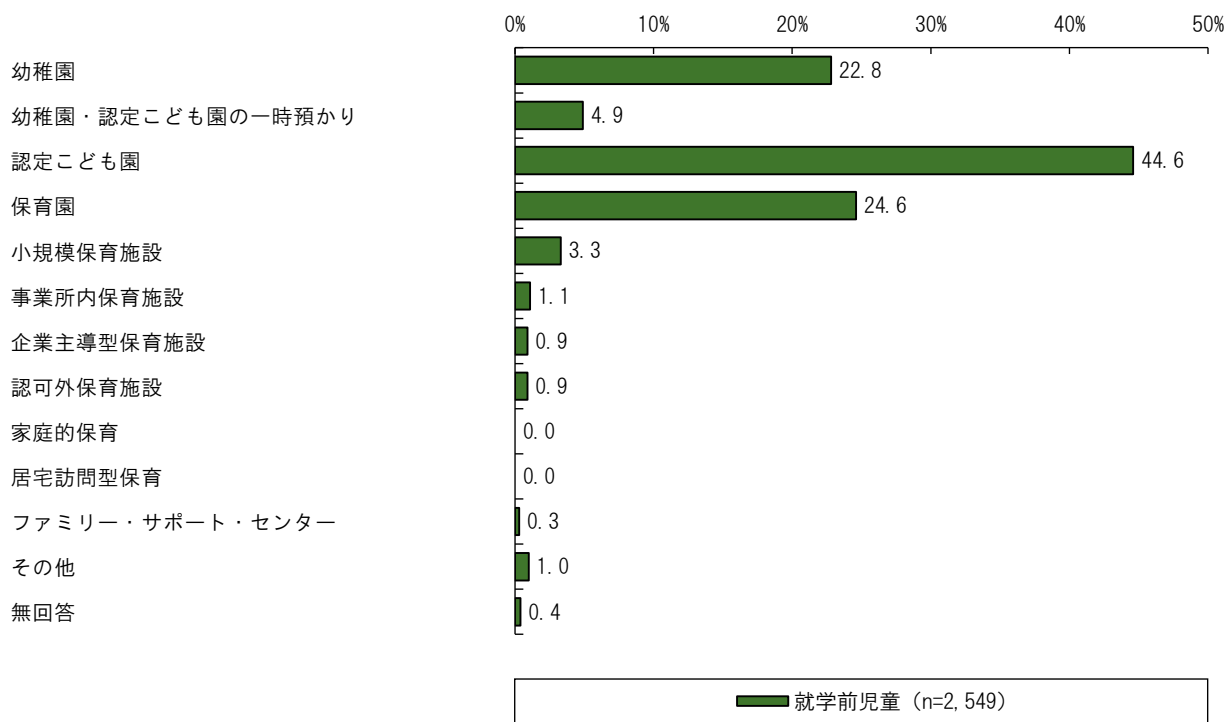


(9) で「利用している」を選んだ方

(10) 利用している事業〈複数回答〉

[就学前児童調査…問11]

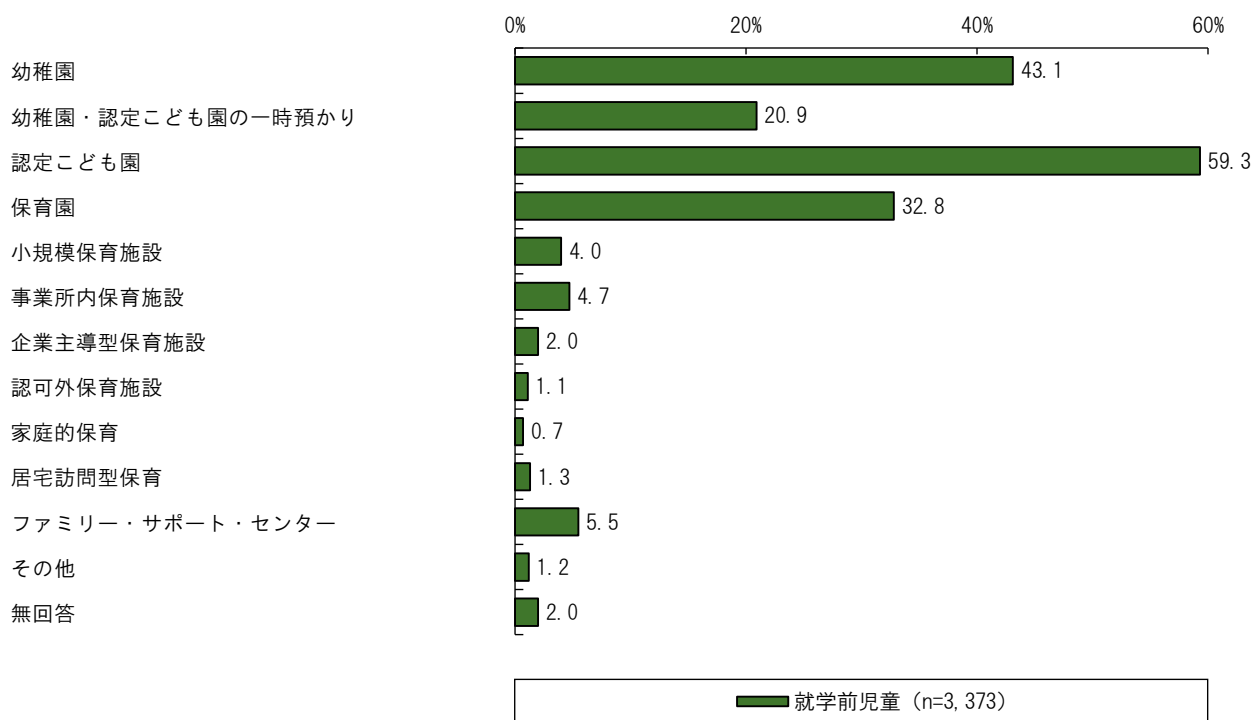
「認定こども園」が44.6%と最も高く、次いで「保育園」が24.6%、「幼稚園」が22.8%などとなっています。



(11) 今後定期的に利用したい事業〈複数回答〉

[就学前児童調査…問12]

「認定こども園」が59.3%と最も高く、次いで「幼稚園」が43.1%、「保育園」が32.8%などとなっています。

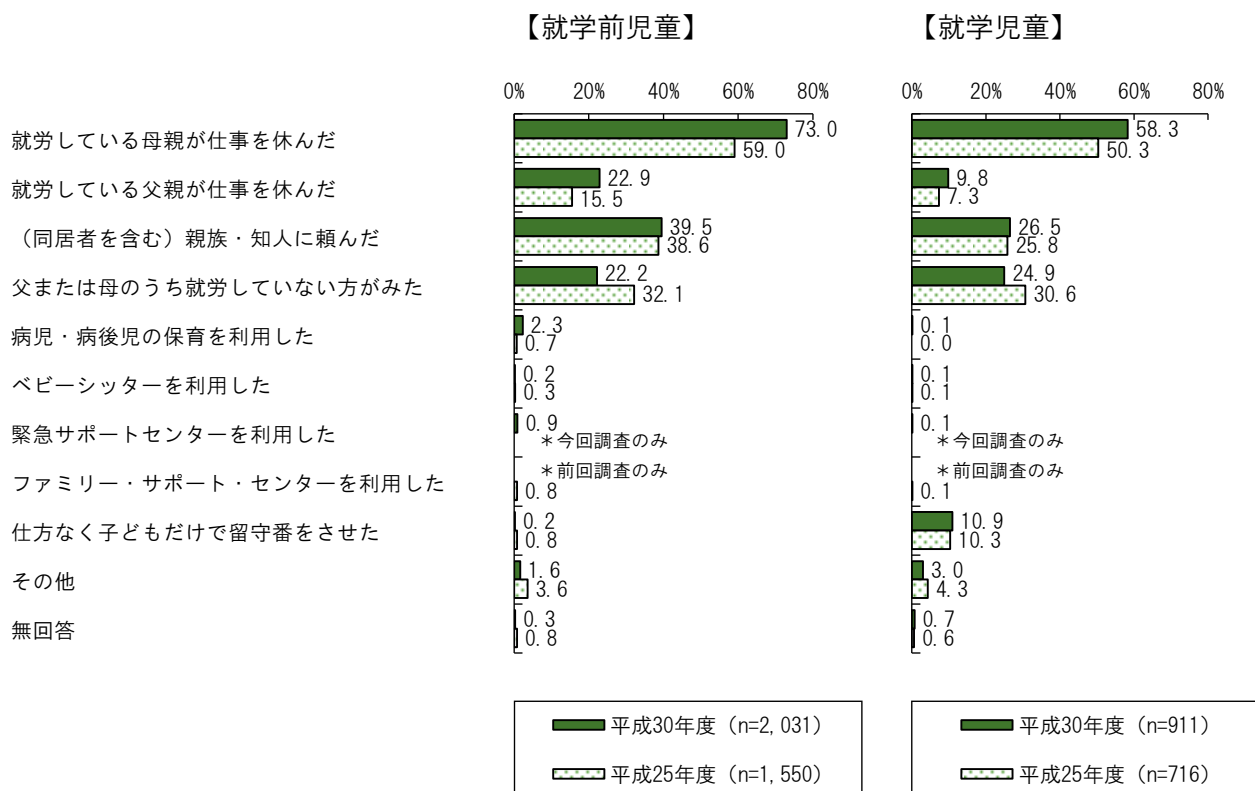


(12) 病気の際の対処方法〈複数回答〉 [就学前児童調査…問14・就学児童調査…問10]

就学前児童では、「就労している母親が仕事を休んだ」が73.0%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に頼んだ」が39.5%、「就労している父親が仕事を休んだ」が22.9%などとなっています。

就学児童では、「就労している母親が仕事を休んだ」が58.3%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に頼んだ」が26.5%、「父または母のうち就労していない方がみた」が24.9%などとなっています。

平成25年度調査と比較すると、就学前児童、就学児童ともに「就労している母親が仕事を休んだ」が最も高く、大きな傾向の差はみられませんでした。



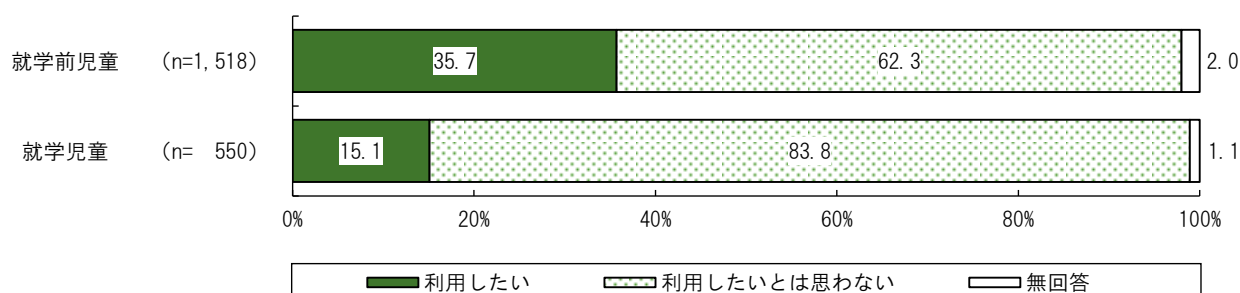
(12) で「就労している母親が仕事を休んだ」または「就労している父親が仕事を休んだ」を選んだ方

(13) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望の有無〈単数回答〉

[就学前児童調査…問14-1・就学児童調査…問10-1]

就学前児童では、「利用したい」が35.7%、「利用したいとは思わない」が62.3%となっています。

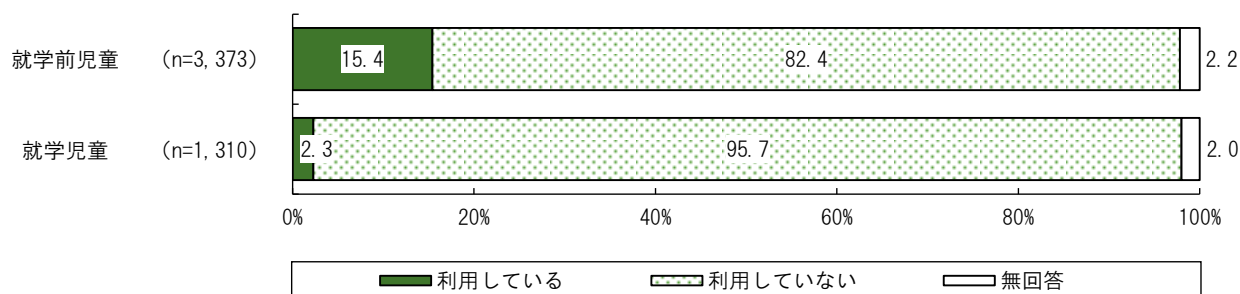
就学児童では、「利用したい」が15.1%、「利用したいとは思わない」が83.8%となっています。



(14) 不定期に利用している事業の有無〈単数回答〉

[就学前児童調査…問15・就学児童調査…問11]

就学前児童では、「利用している」が15.4%、「利用していない」が82.4%となっています。
就学児童では、「利用している」が2.3%、「利用していない」が95.7%となっています。



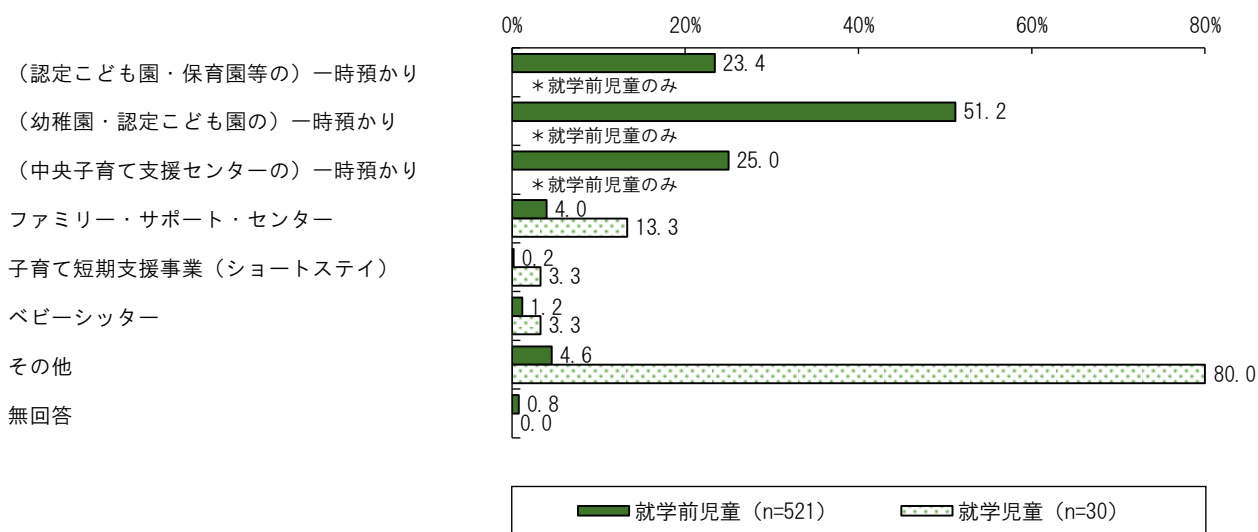
(14) で「利用している」を選んだ方

(15) 利用している事業〈複数回答〉

[就学前児童調査…問15・就学児童調査…問11]

就学前児童では、「(幼稚園・認定こども園の)一時預かり」が51.2%と最も高く、次いで「(中央子育て支援センターの)一時預かり」が25.0%、「(認定こども園・保育園等の)一時預かり」が23.4%などとなっています。

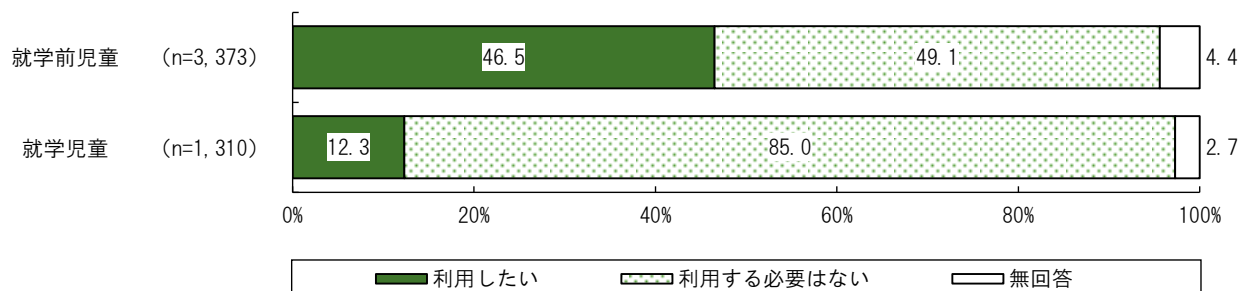
就学児童では、「ファミリー・サポート・センター」が13.3%と最も高く、次いで「子育て短期支援事業(ショートステイ)」と「ベビーシッター」が3.3%などとなっています (n=30)。



(16) 私用等の目的での事業の利用希望の有無〈単数回答〉

[就学前児童調査…問16・就学児童調査…問12]

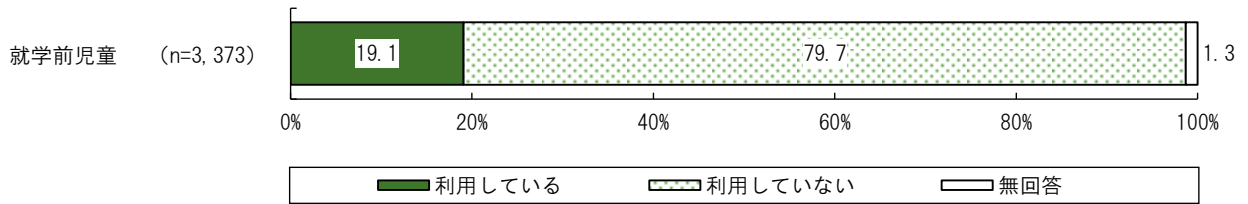
就学前児童では、「利用したい」が46.5%、「利用する必要はない」が49.1%となっています。
就学児童では、「利用したい」が12.3%、「利用する必要はない」が85.0%となっています。



(17) 子育て支援センター等の利用の有無〈単数回答〉

[就学前児童調査…問18]

「利用している」が19.1%、「利用していない」が79.7%となっています。

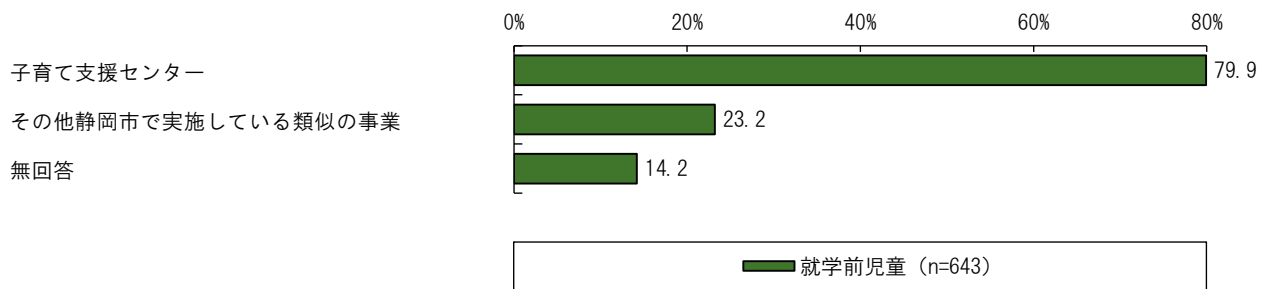


(17) で「利用している」を選んだ方

(18) 子育て支援センター等の利用を希望する事業（利用している）〈複数回答〉

[就学前児童調査…問18]

「子育て支援センター」が79.9%と最も高く、次いで「その他静岡市で実施している類似の事業」が23.2%となっています。

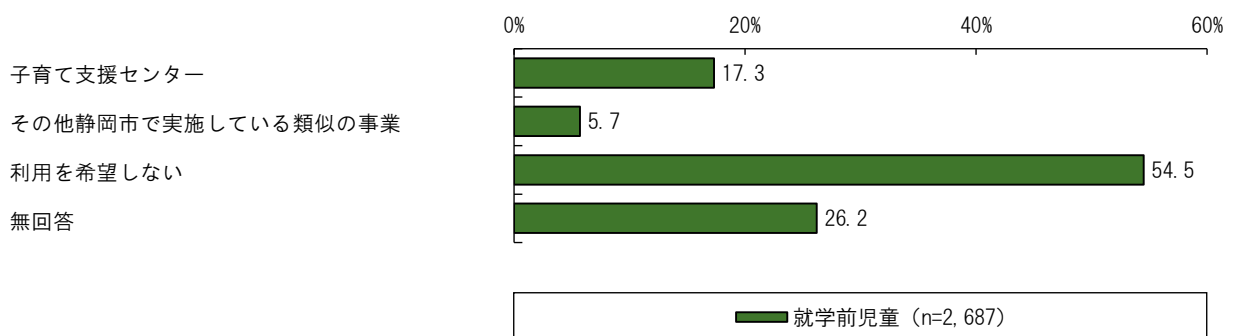


(17) で「利用していない」を選んだ方

(19) 子育て支援センター等の利用を希望する事業（利用していない）〈複数回答〉

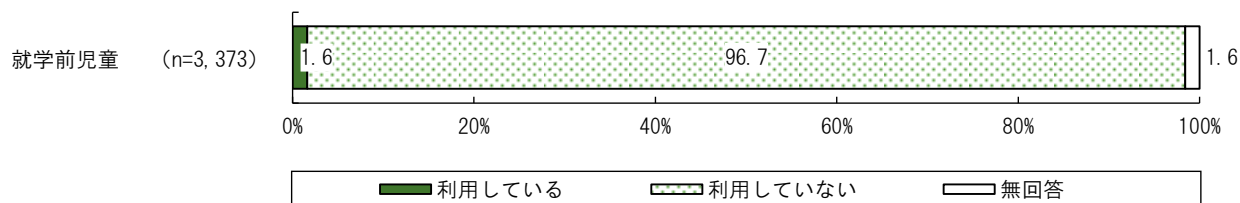
[就学前児童調査…問18]

「利用を希望しない」が54.5%と最も高く、次いで「子育て支援センター」が17.3%、「その他静岡市で実施している類似の事業」が5.7%となっています。



(20) 子ども未来サポーター等の利用の有無〈単数回答〉 [就学前児童調査…問19]

「利用している」が1.6%、「利用していない」が96.7%となっています。

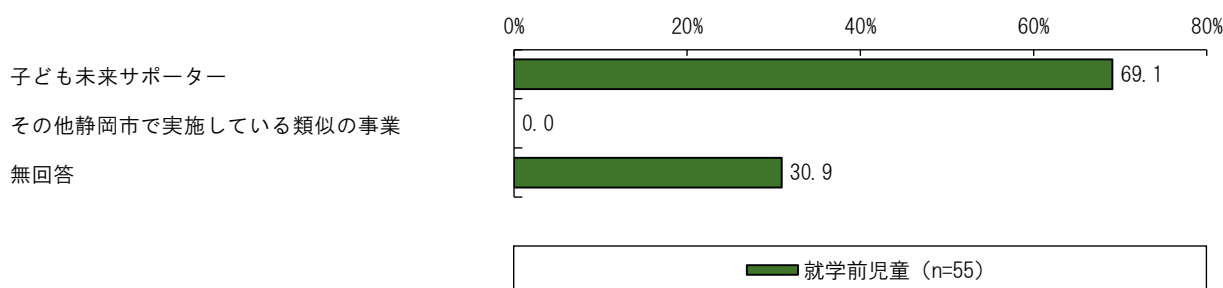


(20) で「利用している」を選んだ方

(21) 子ども未来サポーター等の利用を希望する事業 (利用している)〈複数回答〉

[就学前児童調査…問19]

「子ども未来サポーター」が69.1%となっています。

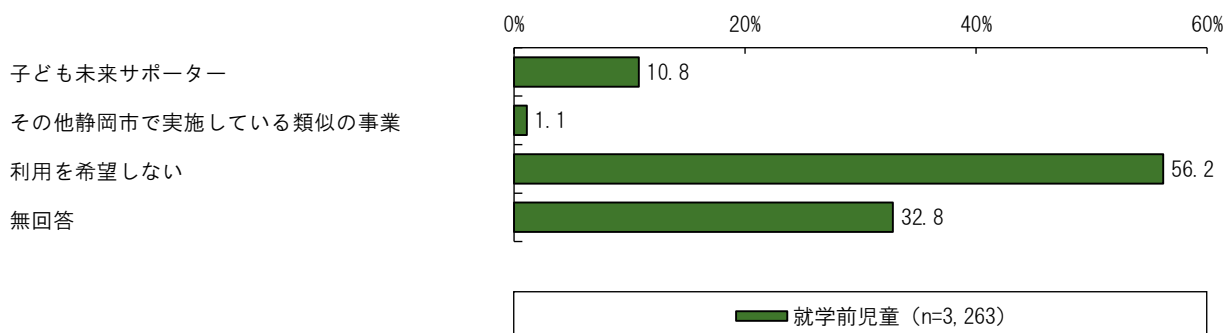


(20) で「利用していない」を選んだ方

(22) 子ども未来サポーター等の利用を希望する事業 (利用していない)〈複数回答〉

[就学前児童調査…問19]

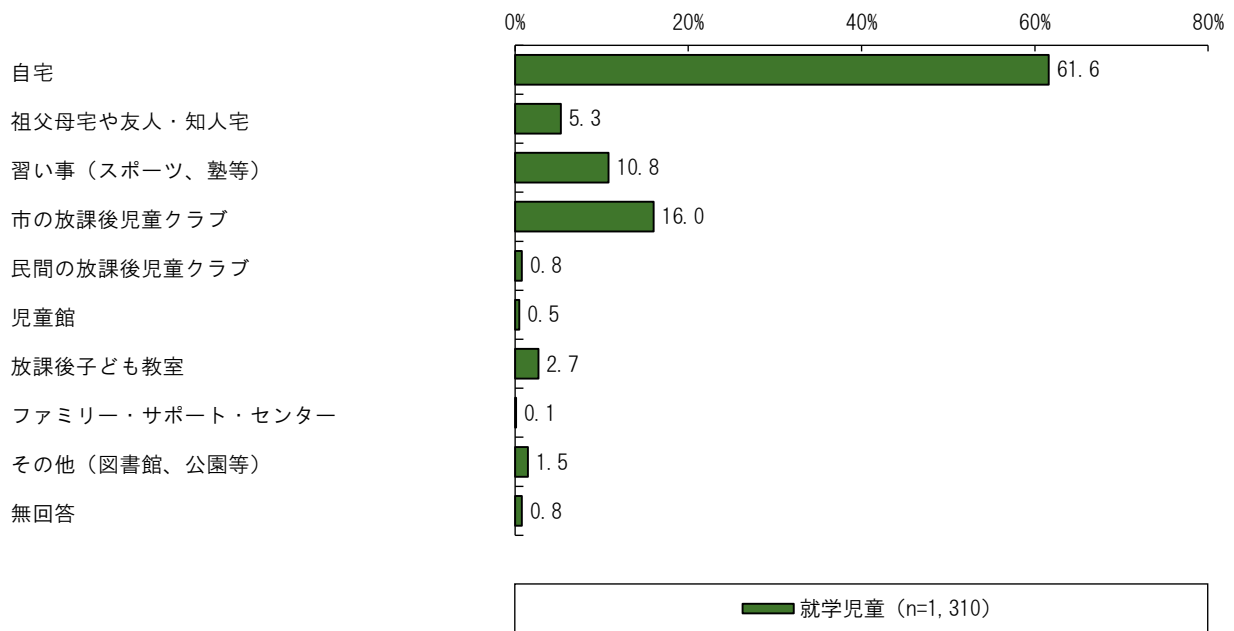
「利用を希望しない」が56.2%と最も高く、次いで「子ども未来サポーター」が10.8%、「その他静岡市で実施している類似の事業」が1.1%となっています。



(23) 放課後の過ごし方〈単数回答〉

[就学児童調査…問14]

「自宅」が61.6%と最も高く、次いで「市の放課後児童クラブ」が16.0%、「習い事(スポーツ、塾等)」が10.8%などとなっています。

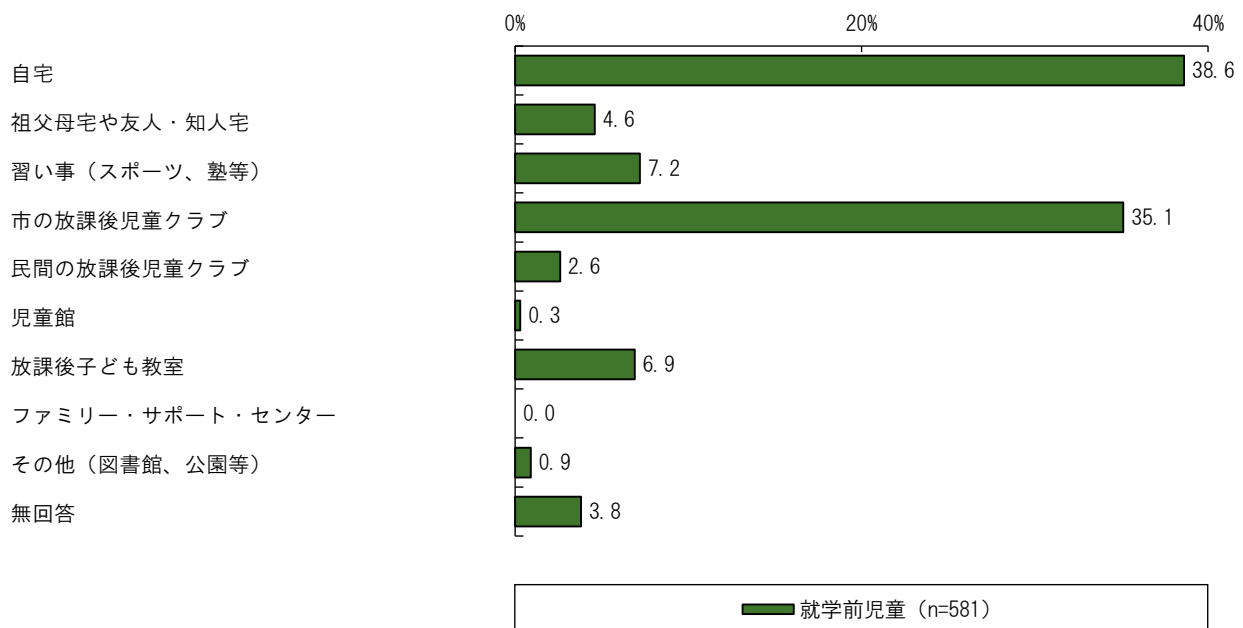


5歳以上の方

(24) 就学後の放課後の過ごし方〈単数回答〉

[就学前児童調査…問20]

「自宅」が38.6%と最も高く、次いで「市の放課後児童クラブ」が35.1%、「習い事(スポーツ、塾等)」が7.2%などとなっています。

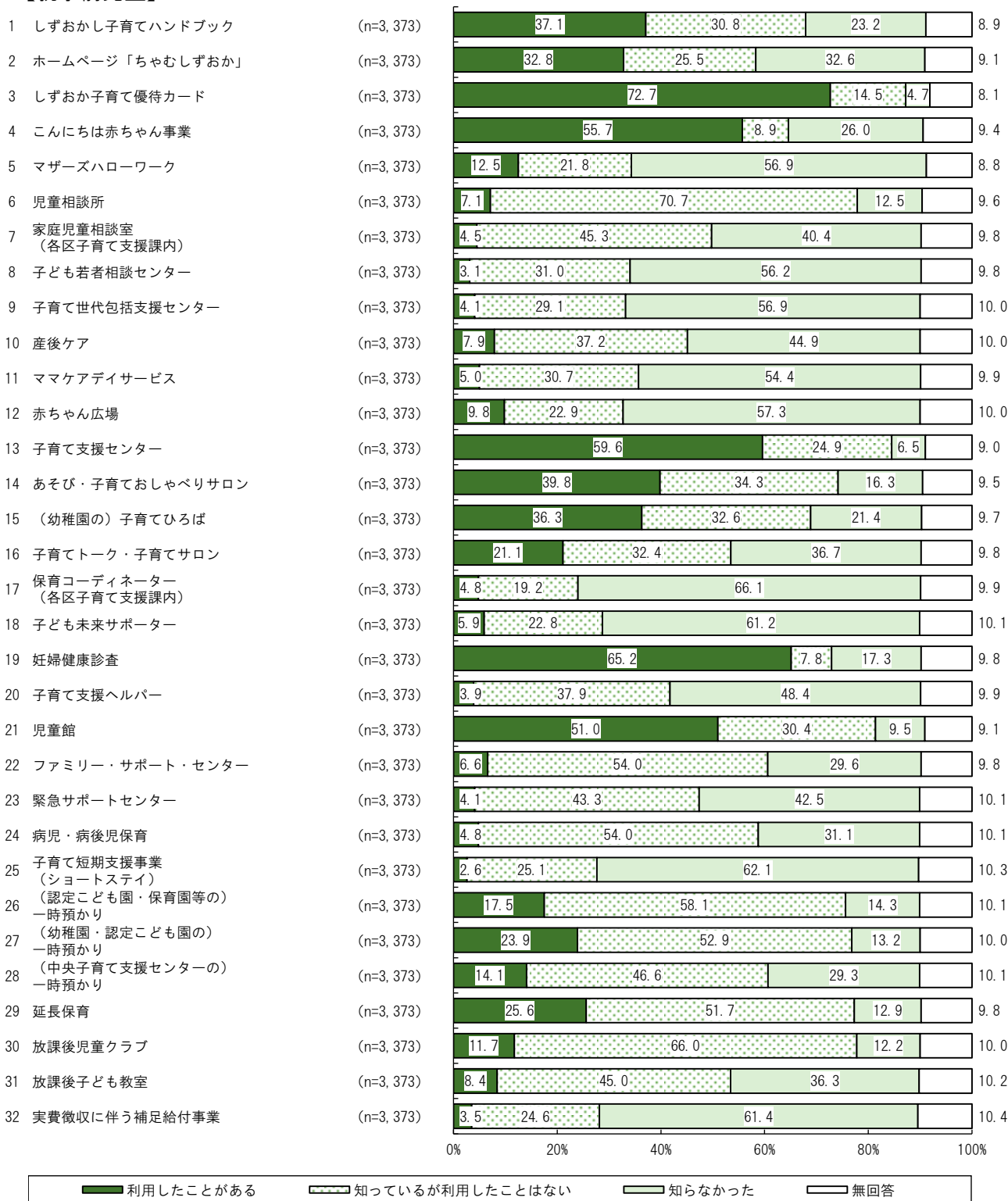


(25) 各種事業の認知度・利用状況〈単数回答〉

[就学前児童調査…問28]

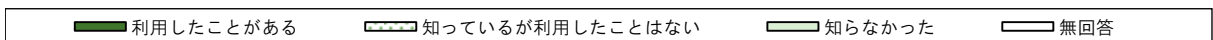
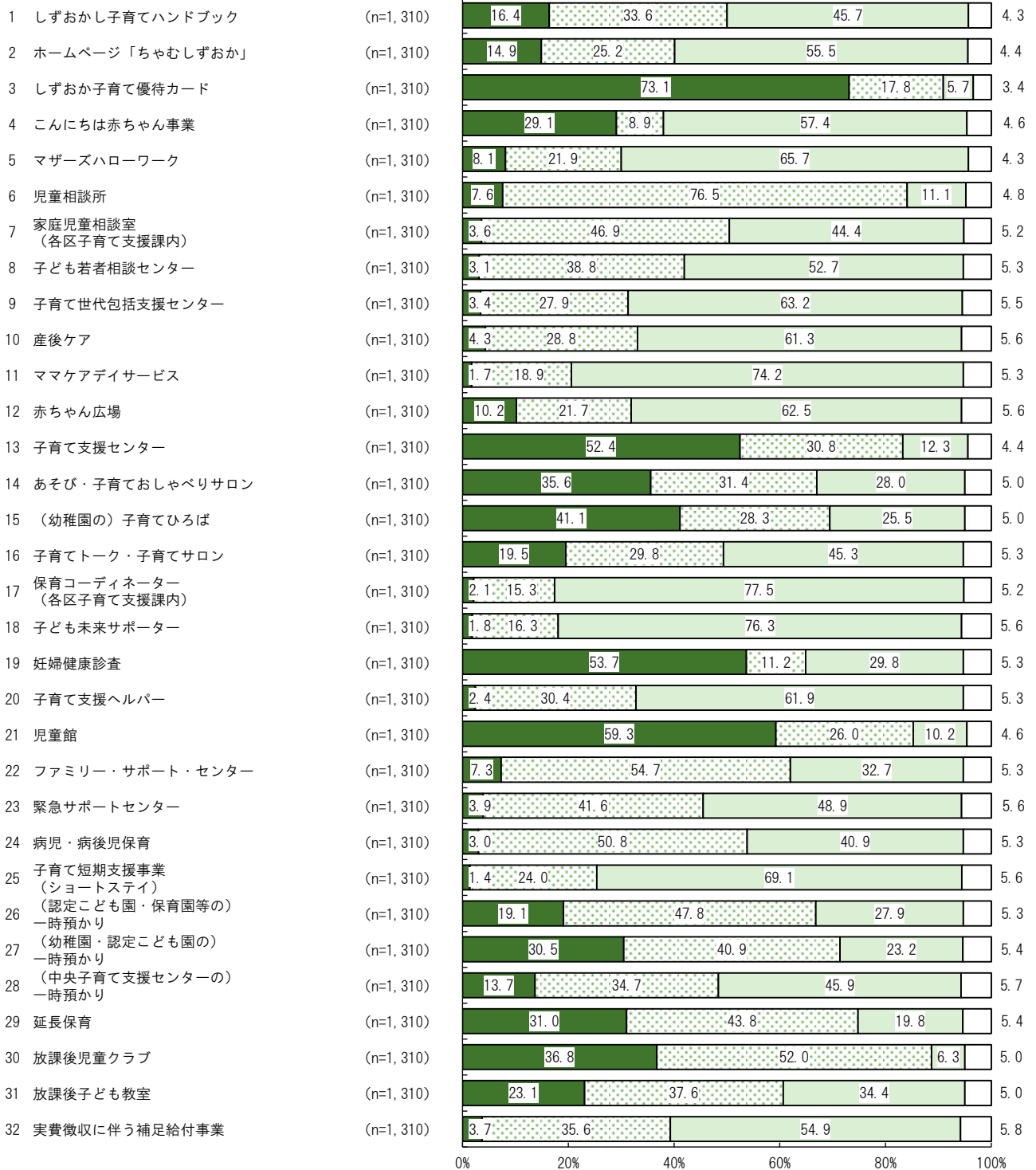
就学前児童の認知度をみると、「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」をあわせた『知っている』が、32事業のうち19事業について50%を超えています。利用状況を見ると、「利用したことがある」が、“しずおか子育て優待カード”(72.7%)、“妊婦健康診査”(65.2%)、“子育て支援センター”(59.6%)、“こんにちは赤ちゃん事業”(55.7%)、“児童館”(51.0%)について50%を超えています。

【就学前児童】



就学児童の認知度をみると、「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」をあわせた『知っている』が、32事業のうち16事業について50%を超えています。利用状況をみると、「利用したことがある」が、“しずおか子育て優待カード”(73.1%)、“児童館”(59.3%)、“妊婦健康診査”(53.7%)、“子育て支援センター”(52.4%)について50%を超えています。

【就学児童】



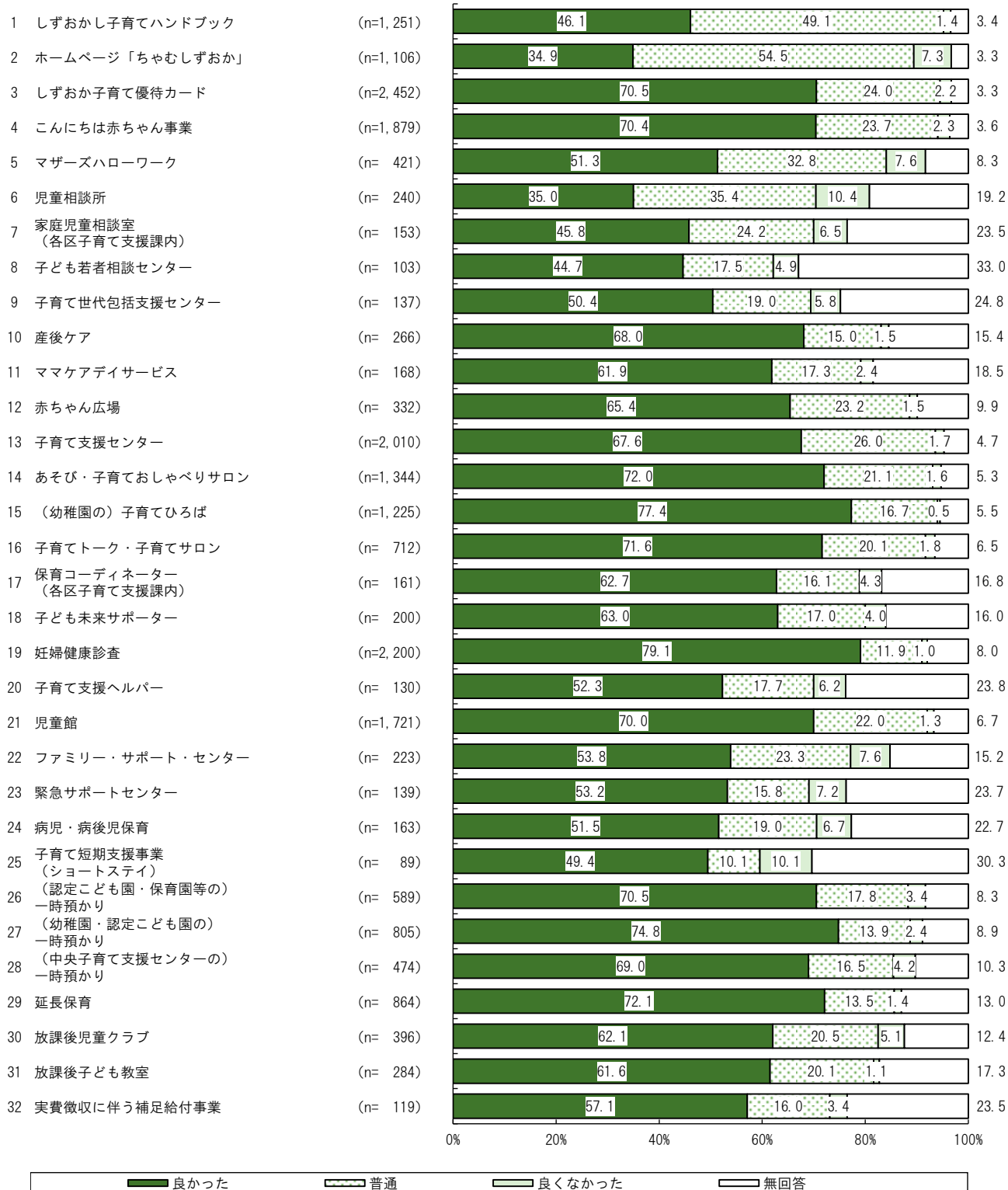
(25) で「利用したことがある」を選んだ方

(26) 各種事業の満足度〈単数回答〉

[就学前児童調査…問28]

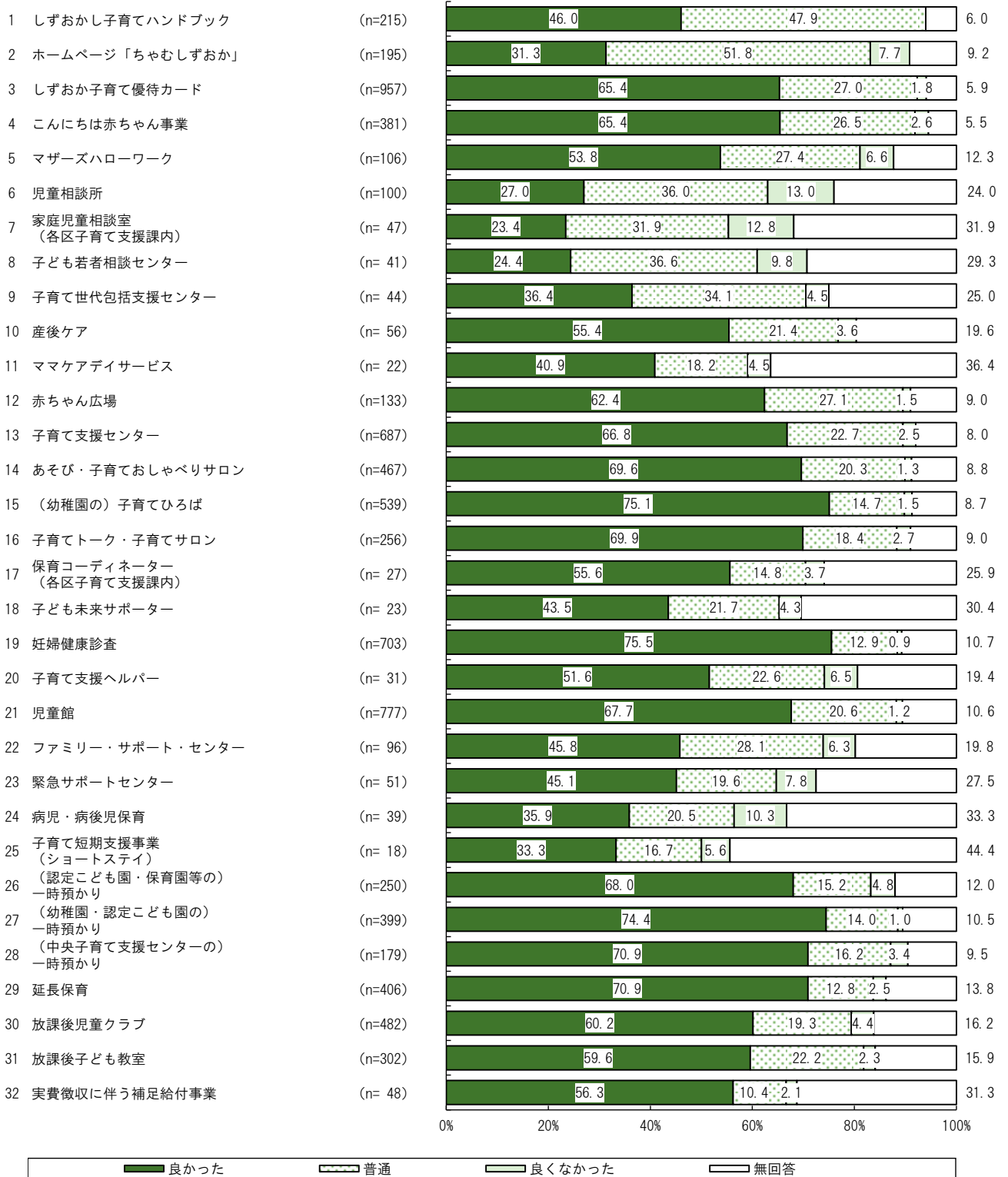
就学前児童の満足度をみると、「良かった」が、32事業のうち26事業について50%を超えています。

【就学前児童】



就学児童の満足度をみると、「良かった」が、32事業のうち20事業について50%を超えています。

【就学児童】



(27) 子育て支援や子育て環境の満足度〈単数回答〉

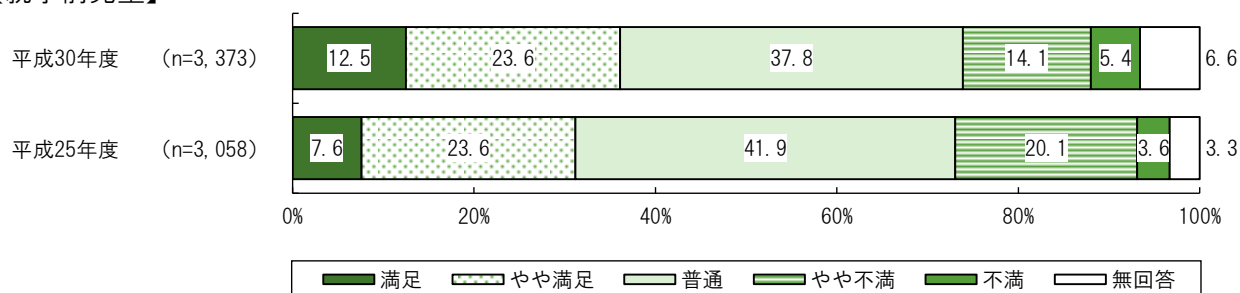
[就学前児童調査…問28-1・就学児童調査…問21-1]

就学前児童では、「普通」が37.8%と最も高く、次いで「やや満足」が23.6%、「やや不満」が14.1%などとなっています。

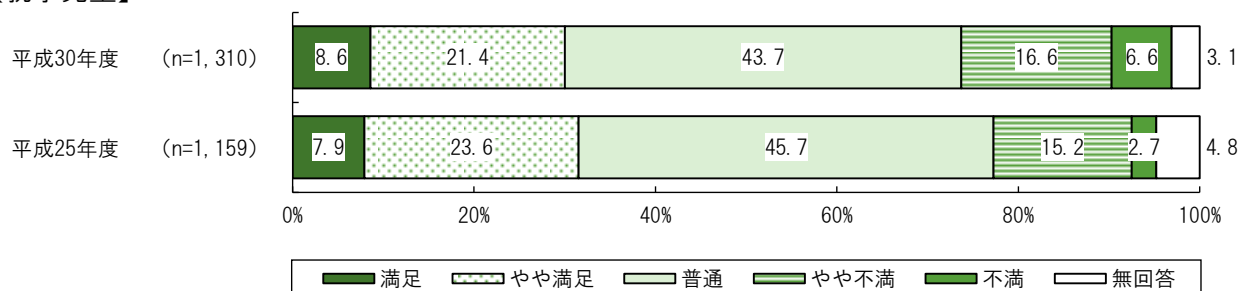
就学児童では、「普通」が43.7%と最も高く、次いで「やや満足」が21.4%、「やや不満」が16.6%などとなっています。

平成25年度調査と比較すると、就学前児童、就学児童ともに「普通」が最も高く、大きな傾向の差はみられませんでした。

【就学前児童】



【就学児童】



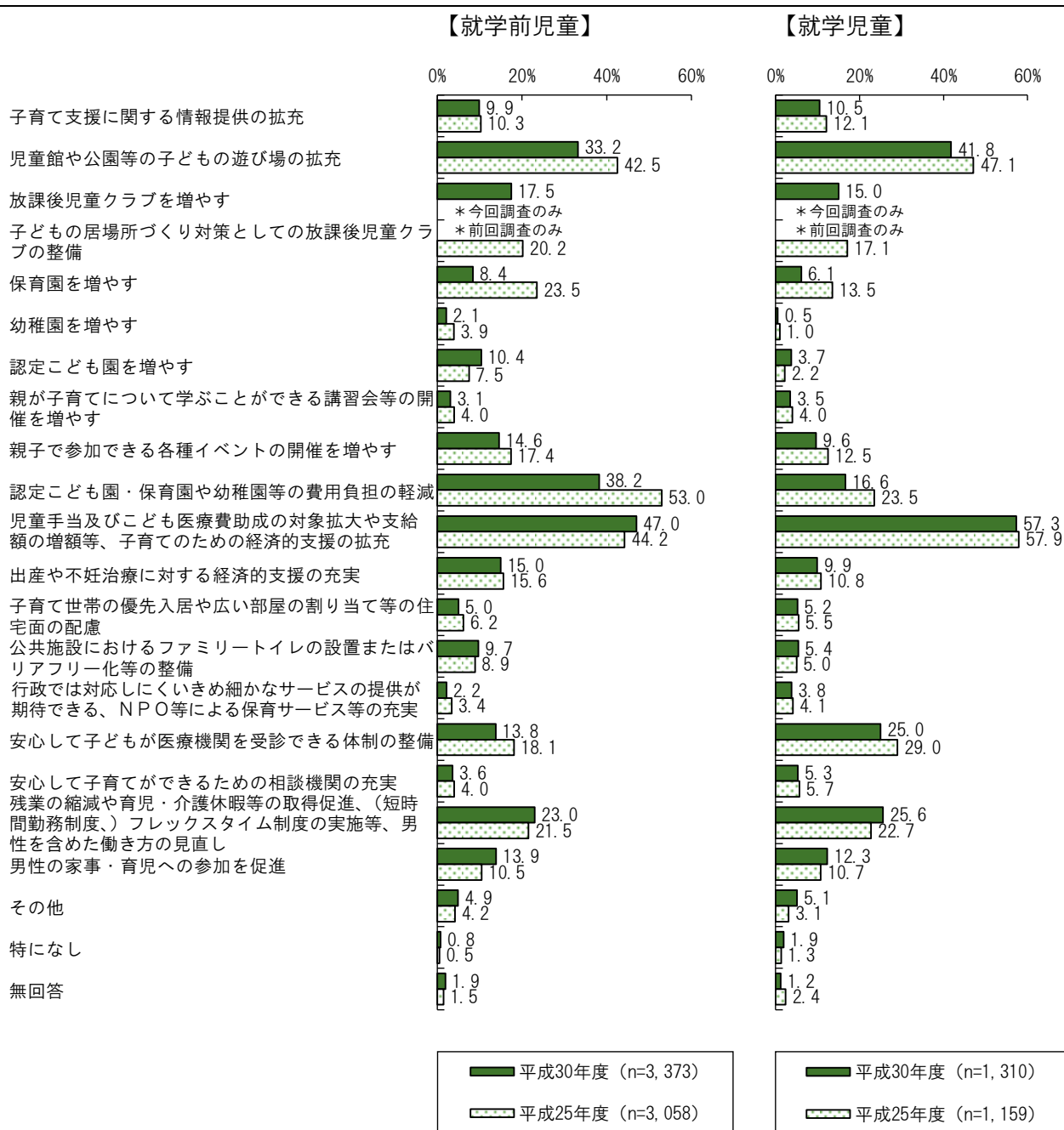
(28) 効果が高いと考えられる施策または充実を図って欲しいと期待する施策

〈複数回答〉 [就学前児童調査…問29・就学児童調査…問22]

就学前児童では、「児童手当及びこども医療費助成の対象拡大や支給額の増額等、子育てのための経済的支援の拡充」が47.0%と最も高く、次いで「認定こども園・保育園や幼稚園等の費用負担の軽減」が38.2%、「児童館や公園等の子どもの遊び場の拡充」が33.2%などとなっています。

就学児童では、「児童手当及びこども医療費助成の対象拡大や支給額の増額等、子育てのための経済的支援の拡充」が57.3%と最も高く、次いで「児童館や公園等の子どもの遊び場の拡充」が41.8%、「残業の縮減や育児・介護休暇等の取得促進、(短時間勤務制度、)フレックスタイム制度の実施等、男性を含めた働き方の見直し」が25.6%などとなっています。

平成25年度調査と比較すると、就学前児童では前は「認定こども園・保育園や幼稚園等の費用負担の軽減」が最も高くなっていましたが、今回は「児童手当及びこども医療費助成の対象拡大や支給額の増額等、子育てのための経済的支援の拡充」が最も高くなっています。就学児童では「児童手当及びこども医療費助成の対象拡大や支給額の増額等、子育てのための経済的支援の拡充」が最も高く、大きな傾向の差はみられませんでした。



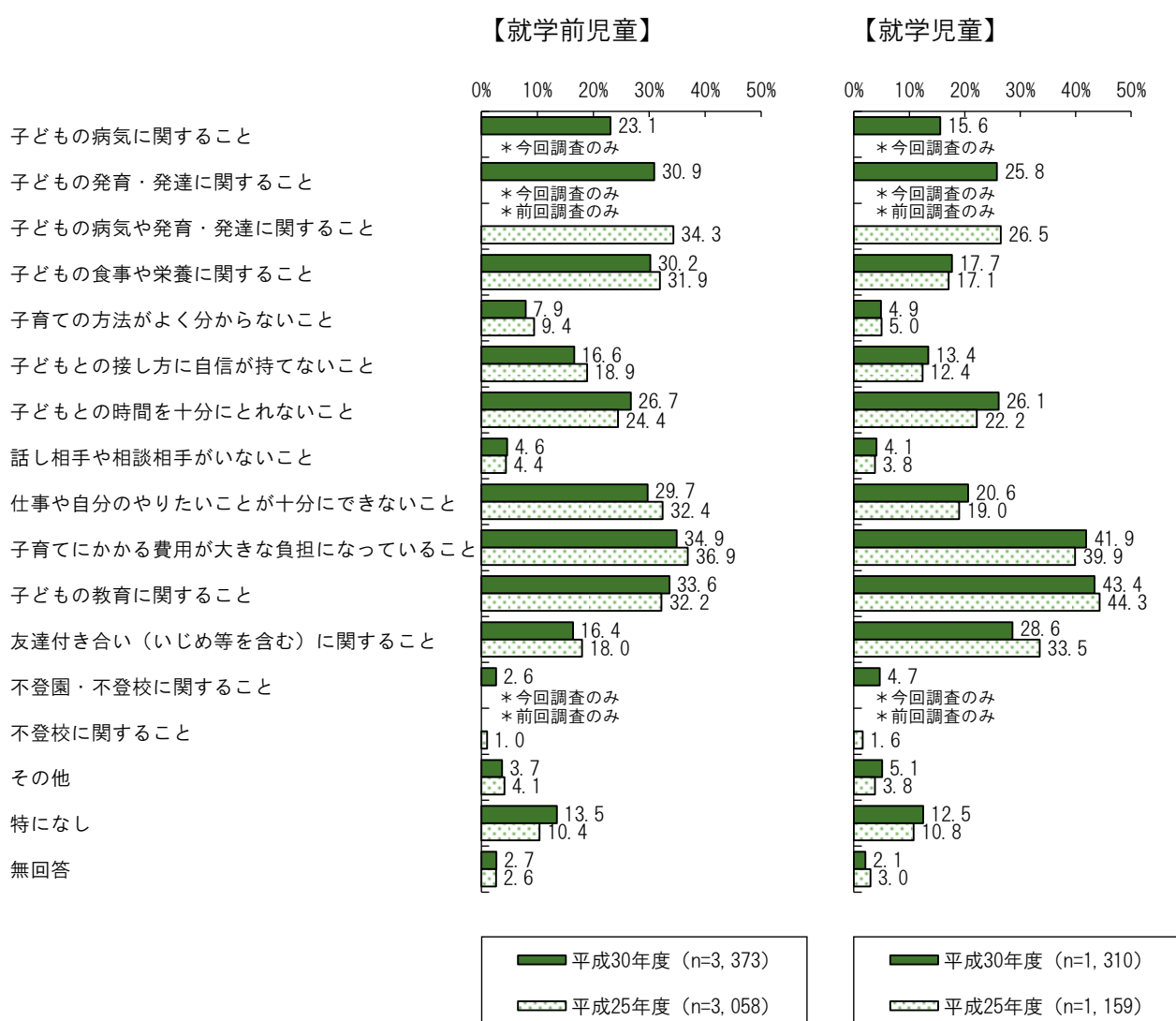
(29) 子育てについて日ごろ悩んでいることや不安なこと

〈複数回答〉 [就学前児童調査…問30・就学児童調査…問23]

就学前児童では、「子育てにかかる費用が大きな負担になっていること」が34.9%と最も高く、次いで「子どもの教育に関すること」が33.6%、「子どもの発育・発達に関すること」が30.9%などとなっています。

就学児童では、「子どもの教育に関すること」が43.4%と最も高く、次いで「子育てにかかる費用が大きな負担になっていること」が41.9%、「友達付き合い（いじめ等を含む）に関すること」が28.6%などとなっています。

平成25年度調査と比較すると、就学前児童では「子育てにかかる費用が大きな負担になっていること」が最も高く、大きな傾向の差はみられませんでした。就学児童では「子どもの教育に関すること」が最も高く、大きな傾向の差はみられませんでした。

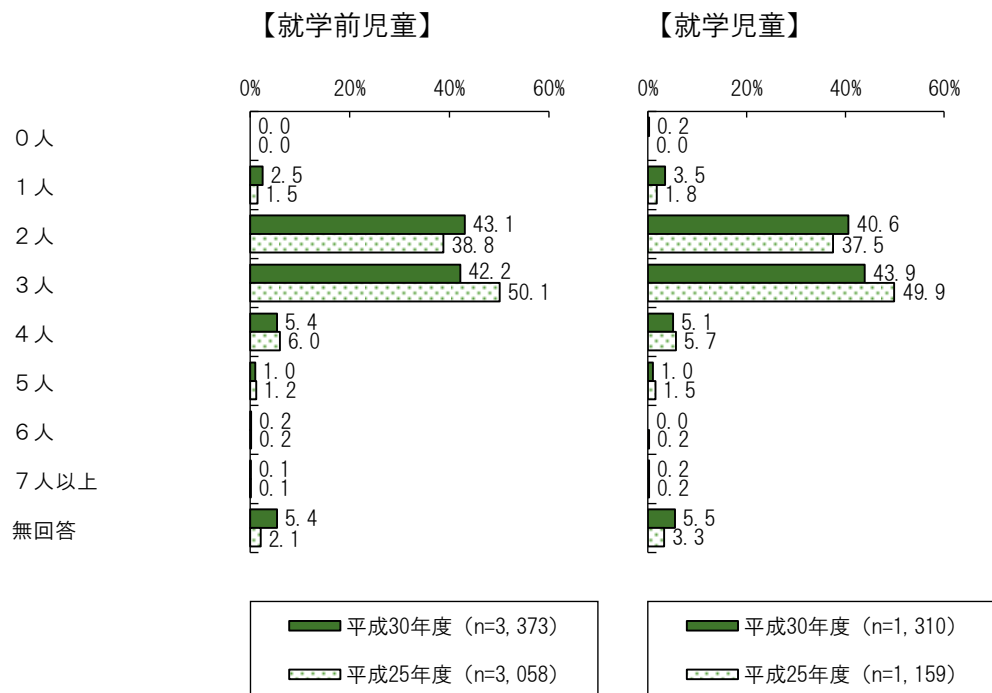


(30) 理想の子どもの人数〈数量回答〉 [就学前児童調査…問32・就学児童調査…問25]

就学前児童では、「2人」が43.1%と最も高く、次いで「3人」が42.2%、「4人」が5.4%などとなっています。

就学児童では、「3人」が43.9%と最も高く、次いで「2人」が40.6%、「4人」が5.1%などとなっています。

平成25年度調査と比較すると、就学前児童では前回は「3人」が最も高くなっていましたが、今回は「2人」が最も高くなっています。就学児童では「3人」が最も高く、大きな傾向の差はみられませんでした。



(30) で理想の子どもの人数より現実の子どもの人数が少ない方

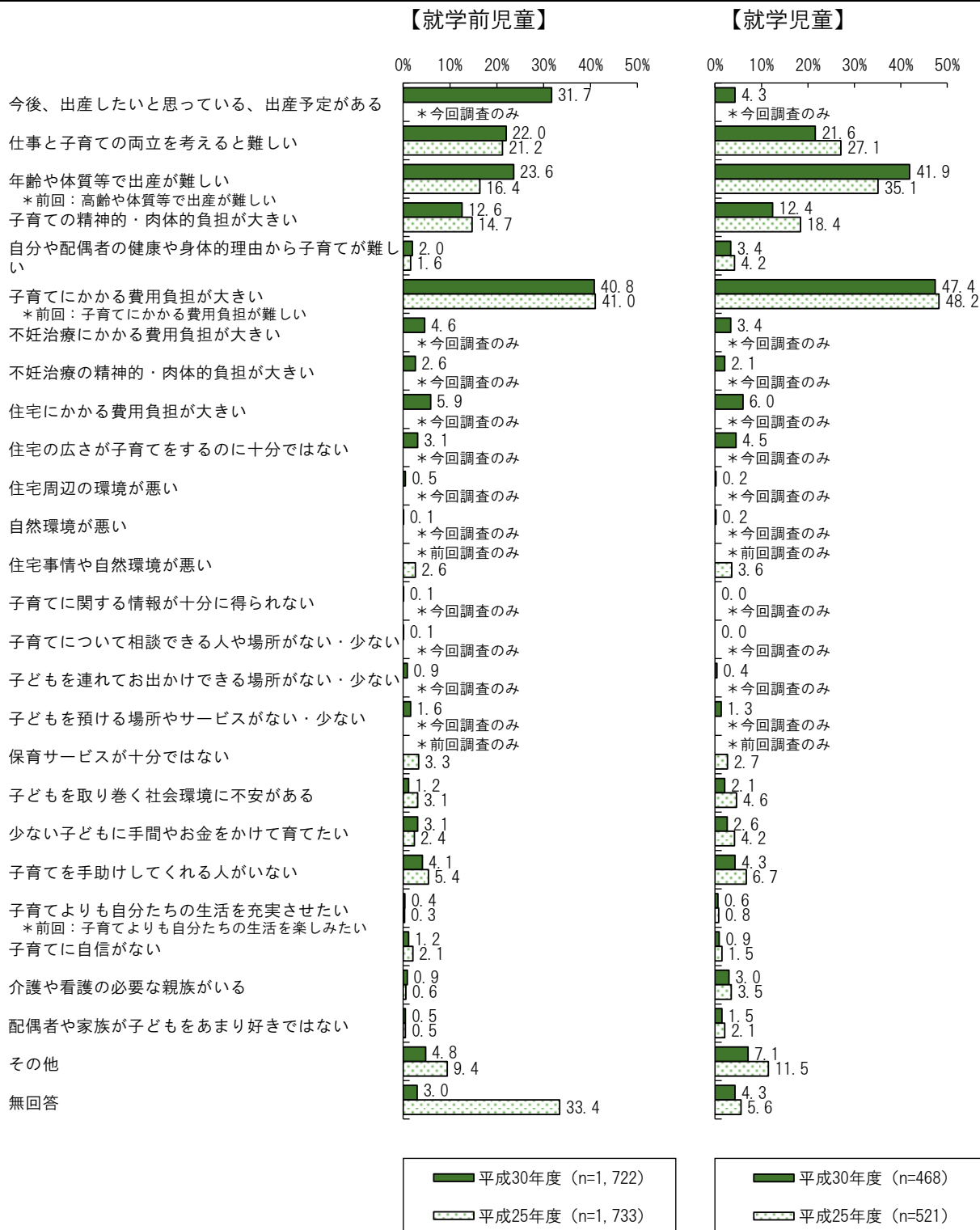
(31) 理想の子どもの人数より現実の子どもの人数が少ない理由〈複数回答〉

[就学前児童調査…問32-1・就学児童調査…問25-1]

就学前児童では、「子育てにかかる費用負担が大きい」が40.8%と最も高く、次いで「今後、出産したいと思っている、出産予定がある」が31.7%、「年齢や体質等で出産が難しい」が23.6%などとなっています。

就学児童では、「子育てにかかる費用負担が大きい」が47.4%と最も高く、次いで「年齢や体質等で出産が難しい」が41.9%、「仕事と子育ての両立を考えると難しい」が21.6%などとなっています。

平成25年度調査と比較すると、就学前児童、就学児童ともに「子育てにかかる費用負担が大きい」が最も高く、大きな傾向の差はみられませんでした。



平成30年度
静岡市
「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」
調査結果報告書

概要版

発行 : 静岡市
編集 : 静岡市 子ども未来局 子ども未来課